

令和6年度登録①

登録番号	法人名 グループホーム名称 住居名称	所在市町村	安心宣言	グループホームで安心して豊かに暮らすことができるための取り組み等
2024-1	<p>社会福祉法人青い鳥福祉会</p> <p>あおぞら荘 (住居) あおぞら荘 らんざん荘 あかつきホームA あかつきホームB</p>	嵐山町 東松山市	利用者一人一人の心身の状態に合わせて、無理なく、安心して暮らせるようなグループホームを目指しています	<p>○グループホームの入居者の意思を尊重した支援のあり方 生活の中での利用者の様子観察に特に注意し、日々の行動や言動などから、本人の意向などに寄り添えるようにしています。どこで生活したいのか、どんな通所に通いたいのか、自分で選択することができることを常に伝えて、ご家族と協力しながら利用者自身ににあったホーム探しなどにも寄り添いサポートしています。 高齢期の利用者や、加齢とともに障害が重度化した利用者、訪問リハビリや訪問看護など医療面のサポートが必要な利用者など、利用者一人一人の心身の状態に合わせて支援するように心掛けています。</p> <p>○グループホームの地域との関わりの取組み 地域での買い物や、飲食店、地域の歯科医院などで暖かく利用者を見守っていただいています。 ご近所の方にも声をかけていただいたり、何かあるとお電話をいただいたり地域に長年、見守られていることを感じています。 2024年度からは、地域の方と一緒に避難訓練を実施することになりました。</p> <p>○登録事業者の入所施設等からの地域移行に関する取組み -</p> <p>○登録事業者・グループホームのアピールポイント ・ご家族の高齢化の対応として成年後見制度の申請のサポートをしています。半数近い方が利用しています。 ・65歳以上の方には、必要であれば介護保険を併用しながら、利用者に合わせてサービス内容を整えています。 ・利用者が居室でのんびりと自分らしく過ごせるような空間を意識した居室づくりを心がけています。 ・月1回の各ホームの職員会議や、LINEや、メールなどを活用して利用者の急な変化など、職員間の情報共有が素早くできるようにしています。 ・強度行動障害支援者研修(基礎研修)をなるべく多くの職員が研修できるように取り組んでいます。</p>
2024-2	<p>社会福祉法人ウイング</p> <p>グループホームにじ (住居) グループホームにじ グループホームなないろ</p>	川島町	入居者の権利を守り、家庭的な雰囲気の下、地域の中で安心して生活できるように努めています	<p>○グループホームの入居者の意思を尊重した支援のあり方 ・ホームということで、家庭的な雰囲気の中で安心して生活できることをスタッフ一同心がけています。 ・利用者の思い(希望、やりたいこと、不安など)に、しっかりと寄り添っていきます。特に言葉でのコミュニケーションが難しい入居者については、表情、行動、健康状態に加えて、日中の様子など他事業所からの引継ぎなども含め、多角的な点から思いを汲み取るように心がけています。 ・ホームのスタッフのみで決定するのではなく、状況に応じて、相談期間をはじめとする他事業所とも連携をはかり、より入居者の意思を汲み取ることができるように心がけています。</p> <p>○グループホームの地域との関わりの取組み ・地域の自治会に加入させて頂き、ゴミ出し、回覧版のやり取りなどを行っています。回覧板等も、できるだけ入居者と一緒にお届けするように努めています。 ・季節ごとに地域の種まき会や美化運動などがあり、参加したい入居者とできるだけ参加するようにしています。</p> <p>○登録事業者の入所施設等からの地域移行に関する取組み -</p> <p>○登録事業者・グループホームのアピールポイント ・スタッフのチームワークがとても良い事業所です。 ・重度の方が多い中で、ひとりひとりの思いに寄り添いながら支援をしています。 ・埼玉県が実施する「埼玉県グループホーム職員研修」に参加し、その内容をスタッフ間で共有すると共に、利用者の意思の尊重、権利擁護に努めています。</p>

令和6年度登録②

登録番号	法人名 グループホーム名称 住居名称	所在 市町村	安心宣言	グループホームで安心して豊かに暮らすことができるための取り組み等
2024-3	<p>特定非営利活動法人橙</p> <p>グループホームぼぷら</p> <p>(住居)</p> <p>グループホームぼぷら グループホームおりーぶ グループホームあべりあⅠ グループホームあべりあⅡ</p>	羽生市	<p>みんなが、毎日を笑顔で過ごせる事を目指しています！</p>	<p>○グループホームの入居者の意思を尊重した支援のあり方 法人の理念である「一人一人の個性を活かし、充実した毎日を笑顔で過ごせるように」をモットーに、丁寧な支援を心掛けています。日々のコミュニケーションを大切にし、些細な出来事を見逃さないよう努力しています。重度の方の場合は、表情や態度から、ご本人の気持ちや感情を推測し、職員間での情報を共有し、適切な支援を心掛けています。 また、ご本人はもちろん、保護者、相談支援員との連絡を密にしています。</p> <p>○グループホームの地域との関わりの取り組み 以前は、地域のお祭りや清掃活動に参加していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響があり、現在は地域との関りが減少しています。 しかし、新グループホームの内覧会には、多くの近隣の方が参加してくれました。 地域の方からの野菜等を頂いたり、ボランティアで関わってくださる方もいらっしゃいます。 コロナが5類に分類されたこともあり、今後は地域との連携を積極的に進めていこうと考えています。</p> <p>○登録事業者の入所施設等からの地域移行に関する取り組み 残念ながら、現在、入所施設や病院から地域移行された方は入居していません。 今後、空室がある場合には、積極的に受け入れる予定でいます</p> <p>○登録事業者・グループホームのアピールポイント 入居者さんに安心して過ごしてもらえるよう、職員のミーティング、勉強会、研修等を定期的に行っています。虐待防止のために、職員のセルフチェックを行うことで、日々の支援内容を振り返るようにしています。 強度行動障害の研修にも積極的に参加しています。</p>

令和5年度登録

登録番号	法人名 グループホーム名称 住居名称	所在市町村	安心宣言	グループホームで安心して豊かに暮らすことができるための取り組み等
2023-1 2022-9	<p><u>社会福祉法人ありす福祉会</u></p> <p>グループホームかのかん</p> <p>(住居)R5登録 グループホームいぶき寮 (住居)R4登録 グループホームいずみ荘 グループホームひまわり荘 グループホーム今宿寮 グループホームいまり寮 グループホームいつき寮</p>	坂戸市 鳩山町	<p>家庭のぬくもりを感じながら生活を楽しめる場所であることを目指していき、それぞれが特徴ある中で自分に合ったホームが見つかるホームです</p>	<p>○グループホームの入居者の意思を尊重した支援のあり方 入居者に対しては、一元的な支援を行うのではなく、それぞれが希望する対応を出来るように心がけております。意思疎通の難しい方には、選択肢を用意した上で、写真を用いたり、家族等の意見を参考にしたり、表情を汲み取る等の支援を行っております。</p> <p>○グループホームの地域との関わりの取組み 地域での買物・飲食店の利用等で障害者の理解を深めてもらっております。また、近所の方で名前でも呼んでもらうこともあったり、声をかけてもらったり、畑を通じて収穫した作物をいただいたり近所の方とは良好の関係が取れております。</p> <p>○登録事業者の入所施設等からの地域移行に関する取組み 入所施設の利用者や児童施設からの利用者の受け入れをしております。障害者支援施設からはもちろん、他法人からの施設入所者の地域移行に取り組んできました。利用者37名在籍しておりますが、当法人の施設利用者6割程度を受け入れてきて今後も積極的に取り組んでいきたいです。</p> <p>○登録事業者・グループホームのアピールポイント 入居者に安心してもらうために、満足度を高めるために埼玉県が実施する「埼玉県障害者グループホーム研修」も受講しました。当法人内では、外出を積極的に取り入れていて利用者満足度を高めるようにしております。重度の利用者でも安心して外出できるように行動援護の資格取得・自己研鑽に励む職員が多く、今後も力を入れていきます。</p>
2023-2	<p><u>社会福祉法人一粒</u></p> <p>ケアホームひとつぶ</p> <p>(住居) 生活の家1 生活の家2 生活の家3 生活の家4 生活の家5</p>	鴻巣市	<p>そこに住む人の一粒となり、開かれた里づくりを目指すこと</p> <p>利用者様が過ごしやすいように、自分らしく日常生活が送れるように心掛けています。</p>	<p>○グループホームの入居者の意思を尊重した支援のあり方</p> <ol style="list-style-type: none"> 一人ひとりを大切に 住む、食べる、休む、楽しむ、憩う、安らぐ、癒すなどの生活機能を基本に、本人自身の居場所ある暮らしをめざします。 自立支援 いかなるハンディがあっても、持てる力を発揮し、役割と仕事を通して自立を促し、その人らしく生きることを支援していきます。 専門機能の発揮 暮らしの意味を整理的欲求の充足だけに求めず、住み、安らぎ、認められ、満たされること、そして癒されることと位置づけ、生活の再編、自立訓練、家族支援等の専門機能を発揮していくことをめざします。 <p>○グループホームの地域との関わりの取組み 地域町内会への加入、清掃活動や防災訓練への参加をはじめ、法人による年1回の地域イベント(お祭り)の開催を行い、活動紹介や交流を行っております。 その他、ボランティアの受入れ、講師依頼(音楽活動・運動・創作活動等)を行い、ともに過ごせる場づくりを意識しておこなっております。</p> <p>○登録事業者の入所施設等からの地域移行に関する取組み 過去の取組の中で、グループホームからご自宅へ戻られる方、他の社会資源を活用して地域生活に移行される方など様々なケース支援をさせていただいてきました。その方にとっての過ごし方を一番に考え、体験できる機会や見学などの取組も踏まえ、その上でご本人ご家族と話し合いを重ねて思いを叶えるための支援を行っております。当然ながら当グループホームでの一日一日の生活も地域生活の選択肢の一つとして、安心・安全を提案していきたいと考えております。</p> <p>○登録事業者・グループホームのアピールポイント 法人では、相談支援事業(計画相談・委託相談)、日中支援事業(生活介護・就労継続B)、居宅介護(行動援護・居宅介護・重度訪問介護・移動支援・生活サポート等)の事業も行っており、連携を図ることでグループホームに入居された利用者様へのトータルサポートも提供することができます。ご本人様だけでなくご家族様へのサポートも含めてご相談に応じることができますのでお気軽にお問い合わせください。</p>

彩の国重度障害者支援・あんしん宣言グループホーム登録一覧

(4/7)

令和4年度登録①(令和5年度に住居を追加登録したグループホームは、令和5年度登録に記載しています)

登録番号	法人名 グループホーム名称 住居名称	所在市町村	安心宣言	グループホームで安心して豊かに暮らすことができるための取り組み等
2022-1	<p>NPO法人埼玉ケア・サポート</p> <p>上柴桑の木 (住居) 上柴桑の木</p>	深谷市	<p>自律した生活を目指しながら、じぶんの家(マイ・ホーム)として、安心して暮らせるホームを目指します</p>	<p>○グループホームの入居者の意思を尊重した支援のあり方 本人の気持ちや希望を伝えやすい環境をつくり、本人にとって相談しやすいホームとなるよう支援を行っています。また、ご本人にとって大切であり、前向きな希望を叶えていくことができるよう本人の状況に合わせた意思決定支援を行っています。</p> <p>○グループホームの地域との関わりの取り組み 町内会に加入し、季節ごとのお祭りや当番制の清掃活動など行っています。地域に根付いたホームとして、近隣住民との交流があるため、地域社会・人とのかかわりを学びながら、地域の一員としての生活を送ることができるホームです。</p> <p>○登録事業者の入所施設等からの地域移行に関する取り組み 当法人はグループホーム事業所の運営のみですが、地域移行支援を経験している精神保健福祉士等の有資格職員がおり、これまでも精神科病院からの退院後の受け入れを行ってきております。本人が無理なく入居できるよう、体験入居者や見学等を本人に合わせた方法で行っていくことを大切にしています。</p> <p>○登録事業者・グループホームのアピールポイント 当ホームは入居者ひとりひとりが地域・社会での生活者として、自律して暮らして行くことができるよう支援するとともに、ホームでの生活が心地よいものとなるよう、ご本人の状況やご希望に合わせて支援をすることを大切にしています。 (生活ホームから始まり)平成21年より、地域とのかかわりを大切にホームを運営して参りました。とても住みやすい地域であり、周辺にお住まいの方たちの理解もいただいているホームに入居者の皆さんと創り上げることができたと考えています。</p>
2022-2	<p>社会福祉法人みのり福祉会</p> <p>グループホーム みどり (住居) グループホーム あおぞら グループホーム あかね グループホーム あおば</p>	狭山市	<p>自分たちの暮らしを、私たちは側面から援助し、自立を育みあなたたちの家であることを目指しています</p>	<p>○グループホームの入居者の意思を尊重した支援のあり方 意思決定、意思尊重について以下の理念に基づき行動します。 1. ご本人の行動・言動・情緒・健康を「まず、よく見る」「つぎに、本人の立場で考える」 2. 「ちいさなできないこと」が「できること」に変わったチャンスを見逃さない 3. 共に行う事で「よろこびを共有し」ひとりで出来たことで「役割を共有する」</p> <p>○グループホームの地域との関わりの取り組み 地域(又は隣近所)の方々が訪問できるイベントを開催、また、ご近所で働く意思のある方々の積極的雇用を行い、地域で住んでいる理解促進を行っています。地区自治会とも連携し、避難訓練などへの参加を行っています。</p> <p>○登録事業者の入所施設等からの地域移行に関する取り組み -</p> <p>○登録事業者・グループホームのアピールポイント 意思決定、意思尊重について以下の理念に基づき行動します。 1. ご本人の行動・言動・情緒・健康を「まず、よく見る」「つぎに、本人の立場で考える」 2. 「ちいさなできないこと」が「できること」に変わったチャンスを見逃さない 3. 共に行う事で「よろこびを共有し」ひとりで出来たことで「役割を共有する」</p>

彩の国重度障害者支援・あんしん宣言グループホーム登録一覧

(5/7)

令和4年度登録②(令和5年度に住居を追加登録したグループホームは、令和5年度登録に記載しています)

登録番号	法人名 グループホーム名称 住居名称	所在市町村	安心宣言	グループホームで安心して豊かに暮らすことができるための取り組み等
2022-3	<p>社会福祉法人たいむ共生会</p> <p>ケアホーム・タイム わかば</p> <p>(住居)</p> <p>ケアホーム・タイム わかば</p>	久喜市	<p>安心・安全を基本に個人の意志を尊重し、ホームが居心地の良い終の棲家となるようサポートしていきます</p> <p>強度行動障がいのあるかたが地域で暮らす居場所になっています</p>	<p>○グループホームの入居者の意思を尊重した支援のあり方 本人のできることを伸ばし、過剰な介助ではなく、常に寄り添いながら、言葉掛け・しぐさ・行動・表情を読み取り、サポートしていきます(何よりご本人の意思を第一優先にします)</p> <p>○グループホームの地域との関わりの取組み 地域の自治会に所属し地域の活動(草取り等)に積極的に参加しています。ホームのまつりや題して簡単なイベントを実施して、地域の方々にも参加していただき交流を図っています。ご近所の方の挨拶を欠かさず、収穫した作物をいただいたりして、地域の方々に理解していただいています。</p> <p>○登録事業者の入所施設等からの地域移行に関する取組み -</p> <p>○登録事業者・グループホームのアピールポイント 利用者の心休まる「わかば」を目指して日々接しています。利用者に安心して生活していただけるよう職員会議で、個々の支援内容を話し合い、必要に応じて研修等でスキルアップを目指しています。 令和4年度は、職員に「グループホームで働く世話人の”支援手引き”」を用いて研修を行うとともに、埼玉県が実施する「障がい者グループホーム職員研修」も受講しました。</p>
2022-4	<p>社会福祉法人日本失明者協会</p> <p>むさし静光園</p> <p>(住居)</p> <p>むさし静光園 熊谷ライトハウス</p>	深谷市 熊谷市	<p>職員全員が点字を学習し、施設の床面に点字ブロックや足印を設置しており、視覚障害の方が安心して暮らせるようなグループホームです</p>	<p>○グループホームの入居者の意思を尊重した支援のあり方 入居されている方とのコミュニケーションツールの一つとして、職員全員が点字を学習し、また、視覚障害の方との接し方、歩き方なども重視し研修を行っています。 入居されている方の希望をもとに、多くの方が隣接の就労継続支援B型事業所であんま・はりの国家試験合格を目指して勉強を兼ねて、また、あんま・はりの免許を取得して身に付けられた技術を活かして働かれています。あんま・はり以外を希望されている方も、清掃など御希望を踏まえた作業をしていただいております。</p> <p>○グループホームの地域との関わりの取組み 隣接の就労継続支援B型事業所での「あんま・はり」で地域の皆様に施術しています。30分コース、60分コース、鍼コースなどメニューもいろいろあり、地域の皆様に「身体がほぐれてよかった」との声をいただいています。徒歩数分のバックアップ施設の法人では、年に一度「ひとみ園祭」を行い、半年間練習してきた盲人演劇の披露などがあります。また、バザーを年に一度行い、地域の皆様にご来園いただき楽しんでいただいています。</p> <p>○登録事業者の入所施設等からの地域移行に関する取組み -</p> <p>○登録事業者・グループホームのアピールポイント 利用者とのコミュニケーションツールの一つとして、職員全員が点字を学習しています。また職員は、視覚障害の方との接し方、歩き方なども重視し研修を行っています。施設内要所には点字ブロックや足印を設置していますので階段も安心です。玄関廻りから施設内廊下や居室へもフラットな床面になっています。</p>

彩の国重度障害者支援・あんしん宣言グループホーム登録一覧

令和4年度登録③(令和5年度に住居を追加登録したグループホームは、令和5年度登録に記載しています)

登録番号	法人名 グループホーム名称 住居名称	所在市町村	安心宣言	グループホームで安心して豊かに暮らすことができるための取り組み等
2022-6	<p><u>社会福祉法人新</u></p> <p>桜</p> <p>(住居)</p> <p>楓 葵 桜並木まふ 木蓮 ポプラ</p>	狭山市	<p>利用者それぞれの特性を持ち寄って、楽しく家庭的な雰囲気の中で自立した生活が送れるグループホームです</p>	<p>○グループホームの入居者の意思を尊重した支援のあり方 自分なら、このグループホームに住みたいかを考え、利用者一人ひとりの意思を汲み取り寄り添った支援を行っています。利用者の満足度が上がるような支援を保護者と連携をし行っています。</p> <p>○グループホームの地域との関わりの取組み グループホームと通所施設の往復だけではなく、自治会への活動を積極的に参加し、清掃活動などを行っています。生活の中で、近隣住民の方との交流を重ね理解を深めていただくように心がけています。</p> <p>○登録事業者の入所施設等からの地域移行に関する取組み ・自立した生活を地域社会において営む事が出来るよう支援しています。 ・職員自らの意識を変え、入所定員の再度見直しを図り、地域社会への移行進めていきます。</p> <p>○登録事業者・グループホームのアピールポイント ・家庭的な交流の中で支援しています。 ・訪問医療を導入し、安心して健康的な生活を送れるよう努めています。 ・遠足やレクリエーションを行い、充実した余暇を送れるよう努めています。 ・ご本人の希望を踏まえ、一人暮らし等の居住生活への移行のための支援に努めます。</p>
2022-7	<p><u>社会福祉法人清心会</u></p> <p>グループホームさやか</p> <p>(住居)</p> <p>サンヒルズホームほし りんごホーム サンヒルズホームそら きりきホーム さんさんホーム びーす ひかり つばさ やまびこ サンライズ中町 銀河 きらきらホーム すい星 下宿屋くまさん かがやき こまち</p>	秩父市	<p>誰もが地域の中でその人らしく幸せを感じながら機嫌よく暮らせる共生社会をめざします</p>	<p>○グループホームの入居者の意思を尊重した支援のあり方 一人ひとりの意見をくみ取りながら良いところを伸ばし、自信に繋がれるような関わりを大切にします。希望に寄り添いながら楽しみの持てる暮らしを長く支えていけるように努めます。本人部会への支援を通し、それぞれの新たなチャレンジをサポートしていくようにします。</p> <p>○グループホームの地域との関わりの取組み 挨拶運動(笑顔であいさつ)、町内清掃、奉仕作業、雪かき、地域の行事への参加など積極的な関係づくり、地域住民の方との情報共有を図っています。 数年前の大雪の時に、主要道路までの雪かきを行うことで、地域住民の方に理解を深めていただき高評価をいただきました。地域のグループホームにはAEDを設置し、地域の方たちの暮らしの安心安全の一助となるよう努めています。 一人ひとりの暮らし見守り体制として成年後見制度の活用をすすめています。 秩父地域にあるグループホームの方との情報共有ができるように連絡体制を作っていきます。</p> <p>○登録事業者の入所施設等からの地域移行に関する取組み 当法人では地域移行型ホームがあり、入所からグループホームへ出るまでの間、地域移行型ホームで生活状況を把握し、見極め、スムーズに移行できるように段階を追ってすすめています。</p> <p>○登録事業者・グループホームのアピールポイント 豊かに暮らすを基本方針として、個々の方のゆとりとぬくもりのある居住空間を創出できるよう努めています。 各ホームの担当者、家族、成年後見人、各関係者等で連携をとりながら個々の利用者にとってよりよい生活となるように人生プラン(人生会議)をご本人を交えて行っています。 月に一度の職員会議、スタッフ会議、研修会の開催。 虐待防止・権利擁護研修へは毎年法人全職員を対象に行い、意識を高められるようにしています。</p>

令和4年度登録④(令和5年度に住居を追加登録したグループホームは、令和5年度登録に記載しています)

登録番号	法人名 グループホーム名称 住居名称	所在 市町村	安心宣言	グループホームで安心して豊かに暮らすことができるための取り組み等
2022-8	<p>社会福祉法人みぬま福祉会</p> <p>ケアホームサンライズ (住居) サンフラワー 第二サンフラワー</p>	蓮田市 白岡市	<p>重度や高齢の方でも安心して生活ができるよう、建物はバリアフリーの構造になっています。</p> <p>また、入居者の方が主体的に自分らしい生活を送れるよう支援していきます。みぬま福祉会では、ともに生きる仲間として、入居者を「仲間」と呼んでいます。</p>	<p>○グループホームの入居者の意思を尊重した支援のあり方 仲間一人ひとりの思いや願い、意思を真摯に受け止めることを一番に大切にしています。支援のあり方については、職員間で議論を重ね本人の意思形成、意思決定支援を行っています。仲間が自分たちで生活を作るということを大切にしており、目標設定を行い、仲間の思いに寄り添いながら、職員は応援をしていくことと振り返りをするを大切にしています。</p> <p>また、支援の質を高めていくことを目指して、支援にあたる職員が積極的に研修や学習会等に参加し、支援の実践について語り合うことや、学んだことを他の職員にフィードバックできるようにしています。障害に対する理解を深め、職員間で共通認識をもって支援にあたれるよう心がけています。</p> <p>○グループホームの地域との関わりの取り組み 地域の医療機関(訪問診療・訪問看護)と連携しながら、入居者の健康管理に努めています。</p> <p>行政や障害者生活支援センターと密な連携を図っています。</p> <p>登録住居「サンフラワー」、「第二サンフラワー」の建設にあたっては、地域の住民の方々へ挨拶を行い、障害がある方の理解を得ながら進めてきました。近年では、コロナ禍により地域の活動などには参加できておりませんが、状況が収まり次第、地域の活動(自治会、クリーン作戦)に積極的に取り組みます。直接、触れ合う機会を設けることで、仲間が地域の中で、偏見や差別ではなく、社会の一員として浸透できるようにしていきたいと考えています。</p> <p>○登録事業者の入所施設等からの地域移行に関する取り組み 入所施設からグループホームへの移行を希望している方たちの受け入れも積極的に取り組んでいます。開所してから、施設間の引越を含めて13名の仲間が入居しています。体験利用では3名の実績があります。</p> <p>「グループホームはどんなところだろう?」というようなイメージ作りとして、体験利用だけではなく、気軽に見学もできるようにしています。</p> <p>○登録事業者・グループホームのアピールポイント 仲間が主体的に自分らしい生活を送れるような支援を心掛けています。</p> <p>20代から70代まで、幅広い年代の仲間たちが、家族のように思いやり支え合いながら生活をしています。職員も家族のひとりのようにアットホームな関係性を目指しています。</p> <p>エピソード:高齢化や疾病により、医療的ケアが必要になった仲間のために、仲間たちで話し合いをしました。「ここで一緒に生活し続けていくためにはどうしたらよいのか」を考える仲間集団があります。</p>